

# 周南市立 新南陽市民病院だより

電話：0834-61-2500

FAX：0834-61-2501

メールアドレス：renkei@city-hp.or.jp

ホームページ：http://www.city-hp.or.jp



## 新南陽市民病院の基本理念

### 市民に奉仕する医療

1. 市民のための「地域病院」であること
2. 医療及び健康を求める全ての人々に、親しまれる「開かれた病院」であること
3. 健康・福祉との連携にも積極的に寄与し、「市民コミュニティー」を形成すること
4. 病院も進歩と変化に対して、発展し、成長し続ける「伸びゆく病院」であること

### 新南陽市民病院の特徴

当院の管理運営は「公設民営方式」で指定管理者制度に基づき財団法人医療公社に委託され、自治体の「信用力」と民間の「柔軟性・機動性・経済性」を活かしながら、管理運営を行っています。

また、施設医療環境面においては、外来診療機能部門の集中、病室の快適な居住性や診断精度の高いMRI、マルチスライスCT、血管造影装置など最新の機種を備えています。

### 目次

### CONTENTS

|                |   |
|----------------|---|
| ごあいさつ .....    | 2 |
| 行事報告 .....     | 3 |
| 特集 .....       | 4 |
| みなさまの声 .....   | 5 |
| 地域連携室だより ..... | 6 |
| 医事統計 .....     | 7 |
| 外来診察一覧表 .....  | 8 |





# ごあいさつ

## 岩村 栄 地域連携室室長補佐

地域連携室と在宅部門（訪問看護ステーション、居宅介護支援センター、在宅介護支援センター）の管理者をしています。

昨今、地域医療連携の重要性が指摘され当院も平成22年7月地域連携室を開設いたしました。また、本年4月に実務者のために周南地域医療連携協議会が、医療・介護・訪問看護など多職種が連携を図り地域完結型医療へ貢献することなどを目的に発足しました。高度先進医療が進歩するなか、急速な少子高齢化と慢性疾患の増大という時代社会で世の中のニーズが多様化してきていますが、地域連携室が病院と地域のかげ橋となり安全に適切な治療が受けられ安心して生活できるように支援していきたいと思っております。



## 兼森 道乃 訪問看護ステーションゆめ風車

訪問看護では、かかりつけ医の指示で看護師がご自宅にお伺いし、ご利用者様のお一人お一人に応じたプランを作成、看護サービスを提供しています。住み慣れた自宅で安全に安楽に生活できるよう、体調を確認したり、生活環境を整えたり、継続した治療が行えるように指導を行い、ご利用者様やご家族を365日24時間サポートしています。

現在スタッフは8名（常勤4名・非常勤4名）小規模ですが、それぞれが研修に参加しスキルアップを図るとともに、心をこめた丁寧なケアや言葉かけを行うよう努めています。皆様のご利用をお待ちしております。



## 角本 加寿子 居宅介護支援事業所ゆめ風車

居宅介護支援事業所では4名の介護支援専門員が居宅サービス計画書（ケアプラン）を作成し、介護サービス事業者との連絡・調整、介護認定の申請手続き、介護に関する様々なご相談に応じています。

行政・各医療機関・地域包括支援センター等と連携をとることで、利用者の皆様にお住まいの地域で安心して暮らしていただけるよう、努力しています。

市民病院や市内の各病院の退院支援に関わることも多く、常に医療公社の看板を背負っているという自覚を持ち、地域の方々や他院の方と接するよう心がけています。



## 野村 久美子 在宅支援センターゆめ風車

在宅支援センターゆめ風車では、周南市からの委託を受けてご家庭で過ごされている介護認定を受けていない高齢者とそのご家族のために、在宅介護に対する相談、福祉サービス（配食サービス・軽度生活支援等）の情報提供や申請手続き等を行っています。また、独居や高齢者世帯のご家庭を訪問し安否確認や状況把握も行っています。

行政・包括支援センターと連携し高齢者が住み慣れた地域で穏やかに生活を送れるように支援しています。



## 首藤 照子 介護老人保健施設ゆめ風車 副施設長

老健ゆめ風車は平成16年4月に開設され、今年で8年目を迎えます。開設以来、3年間はフルスロットルで駆け抜けた気がします。その後、平成21年に介護保険法の改正があり、老健施設は、在宅復帰を目指すと共に、看取り介護も求められる施設となり、それぞれの老健で異なる事業展開が行われることになりました。この様な流れの中、今後の老健機能は、2分化されると言われています。その一つが「高機能化」。老健施設は、住宅ではなく、継続性には応えられない、いわゆる通過施設です。そこでの高機能化とは、家庭復帰機能、リハビリ機能、認知症対応機能などの機能を高めていくことです。もう一つは「住まい化」。重介護施設化し、やがて住まい化する。換言すれば、特養化するということです。この2分化の中でゆめ風車の目指すところは、「高機能化」の推進ではないでしょうか。とりわけ認知症対応機能強化の必要性は強く感じているところです。

今後は、医師をはじめ、看護、介護、リハビリ、栄養、ソーシャルワーカーなどの多職種が協働する職場で、それぞれの職種の持ち味を出し、専門性を高め合い、最終的には、利用者の方がたのwell-beingを追求する、そんな施設運営を目指して行きたいと思っております。



## 行事報告

### 【四病院親睦野球大会】 記 野球部監督 中塚和央

第30回記念大会となる当日の朝、市民病院上空に「虹」が掛かっていました。初戦は日立病院との対戦。試合は、序盤から1番森脇（老健）、2番中塚（医事課）の出塁から5番の渡辺（5階病棟）の三塁打で2点先制しました。守りでは松谷院長が先発し、荒瀬捕手（鴻池メディカル）のリードで魔球を駆使したピッチング。2回には自ら三塁打を放ちチームに勢いを呼び、4回表には、打者一巡する猛攻を見せ、橋本医師のヒット、4番鈴木副院長の鋭い打球の三塁打、サードコーチャーの宮木（総務課）の好判断、河村（放射線室）の好走塁、田上医師の積極果敢な走塁で結局、14対6で勝利することができました。



決勝戦は、連覇を続ける徳山医師会病院との対戦でしたが、2回に渡辺、畠山（放射線室）、河村の連打で1点先制し、先発の森脇は、重量打線の猛撃をかわす粘りのピッチングで踏ん張りました。3回表に頼岡（薬剤部）の二塁打を足がかりに連続四球を誘い、一挙5点を挙げました。最後は、助っ人の片山純の好リリーフで逃げ切り、8対5で念願の優勝を遂げました。閉会式後は全員で記念撮影を行い、みんな笑顔で終わることができました。ちなみに、試合直後にも勝利を祝うかのごとく「虹」が現れていました。「虹」が、勝利と笑顔をもたらしてくれたのかもかもしれません。

### 【周南HOTの会】 記 看護部師長 永富喜代子



「周南HOT」の会についてご紹介します。

「周南HOTの会」は、在宅酸素療法を受けている方々が笑顔でいきいきと明るい生活を送ることができることを目的に親睦会やバス旅行を通して、会員相互やボランティアスタッフとの交流をはかっています。会員は在宅酸素療法を受けている方とその家族とボランティアスタッフです。

平成16年12月に第1回周南HOTの会を発足しました。今年の10月には第14回目を迎え、宮島に出かけます。ボランティアスタッフは医師、薬剤師、訪問看護師、看護師、医療ソーシャルワーカー、酸素業者等多職種の方々です。今までの日帰りバス旅行は津和野、下関・門司、

呉大和ミュージアムに出かけています。患者さまからは、「旅行前日は酸素ボンベのことや体調は大丈夫だろうか」と心配でしたが多くのボランティアスタッフに囲まれ安心して楽しい1日を過ごすことができました」と感想をいただいています。ボランティアスタッフは、外来や病棟とは違って患者さまの表情が明るく生き活きされている姿を拝見でき、旅行の手伝いができたことにやりがいを感じます。地域に在宅酸素療法を受けている方がおられましたら、家族の方も一緒にご参加ください。お待ちしております。



# 特集 【中高年の肩の痛み～その症状は、五十肩ですか？】

記 副院長（整形外科） 木村光浩

肩関節は、上腕骨、肩甲骨、鎖骨と、これを取り巻く筋肉や関節包で成り立っており、極めて大きな可動域（動かせる範囲が広い）を持つことが特徴です。しかしながら、上腕骨の頭に対して受け皿である肩甲骨の関節面が小さい（図1）ため不安定であり、これを支えるために肩甲骨周囲の四つの筋肉（肩甲下筋、棘上筋、棘下筋、小円筋）が腱板として上腕骨頭を取り囲んでいます。腱板は上腕骨を肩甲骨に引きつける働きをし、外側の厚い筋肉（三角筋）と共同で肩の運動を可能にします。（図2）

肩の障害では、腱板や関節包、軟骨に病変が限局していて、レントゲンでは異常を認めないケースが多く見られます。中高年に多い肩の痛みは、五十肩（あるいは四十肩）として知られることが多いのですが、五十肩とは江戸時代の俚言集覧（方言や俗語辞典）「凡、人五十歳ばかりの時、手腕、関節痛むことあり、程過ぎれば薬せずして癒ゆるものなり、俗にこれを五十腕とも五十肩ともいう。また長命病という」（1797年）に由来し、外傷などの明らかなきっかけが無く、徐々に疼痛（特に夜間痛）が出現して、肩関節の動きが制限されてくるものを言います。治療としては、痛みの強い時期は注射療法、痛みが和らぎ関節可動域制限（動きが悪くなる）が主な症状の時期は理学療法（リハビリ）が奏功し、手術に至ることはほとんどありません。回復には6ヶ月から2年を要しますが、必ずしも自然治癒するとは言いきれません。また、大きな外傷や骨折に続発する拘縮や、糖尿病に合併した拘縮（糖尿病性肩関節拘縮）の場合は、理学療法

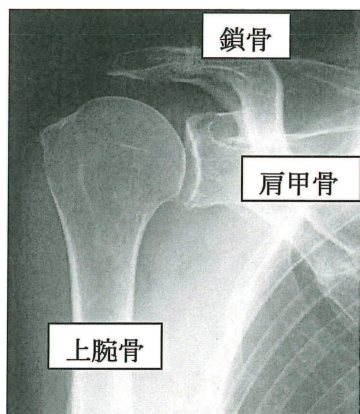


図1. レントゲン

だけでは直らなかつたり、かなり時間がかかることが多いので、手術をすることもあります。

腱板断裂（図2）は、50歳以上に好発し、転倒や重いものを持ち上げようとしたり、肩をひねったりなどの外傷を契機として発症することが多いのですが、特に外傷がなく起こることもあります。夜間痛、動作時痛とくに腕を上げるときや下ろすときに痛みや引っかかりが出ます。断裂した腱板は縫合しなければ元の状態には戻りませんが、切れていても時間経過とともに症状が軽快することもあるので、まずは注射や理学療法などの保存療法を行います。ただし、若い人や重労働を行うなど活動性の高い人で、受傷後3ヶ月以上症状が続く場合には手術が必要となります。最近では、正常な組織である三角筋を損傷せずに、小さな切開を数箇所作って行う関節鏡視下手術が行われています。（図3）

そのほかにも肩周辺に痛みを起す原因として、頸椎椎間板ヘルニアや頸部神経根症などの頸椎由来の疾患や腫瘍、化膿性関節炎などがあります。五十肩と自己判断はせず、半年以上症状が持続する場合は、レントゲンや、場合によってはMRIによる特殊検査が必要となりますので、専門医に相談することをお勧めします。

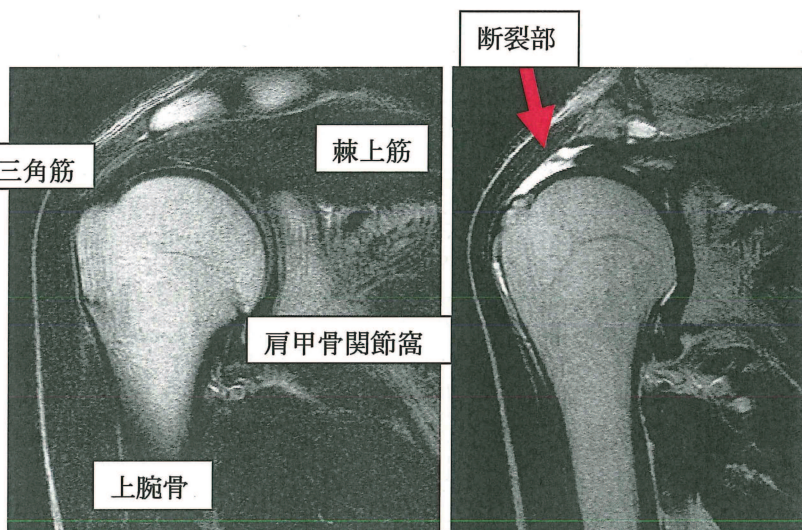
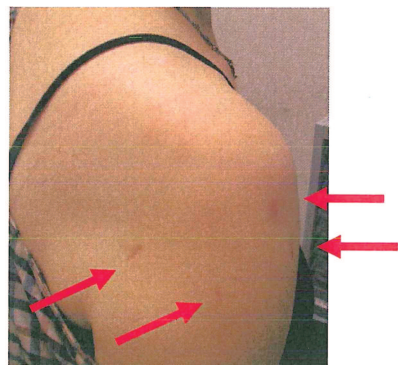


図2. MRI 左：正常 右：腱板断裂





# みなさまの 声

市民病院では、外来・入院患者様、お見舞い等の皆様から様々なご意見ご要望をいただいております。いただいたご意見等につきましては、できるところから改善、検討を加えております。お寄せいただいたご意見等につきましては一階の掲示板に掲示しております。今回は、今までいただいたご意見等の中から選んでご紹介いたします。今後とも叱咤激励をお願いいたします。

Q

職員の皆さん、とっても献身的で、楽しい快適な入院生活を過ごせました。

A

感謝のお言葉をいただき、誠にありがとうございます。当院は「市民に奉仕する医療」という基本理念のもと、患者さんに安心して安全な医療を提供し、快適な入院生活をおくっていただけますよう、職員一同心がけております。今回のお言葉を励みに、今後もより良い病院を目指してまいります。

Q

めまい外来がほしいです。

A

貴重なご意見をありがとうございます。めまい外来につきましては、現在、当院には耳鼻咽喉科がないため、めまい外来の設置は難しいかと存じます。ご要望にお応えすることができず、申し訳ございません。今後とも、ご意見ご要望がございましたら、遠慮なくお申し出ください。

Q

いつも診察時に時間がかかりすぎます。特に初診時の看護師からの問診までにはずいぶん待つようになります。そこでの問診が必要であれば看護師の人数を増やされたらどうでしょうか。紹介状を持参しても同じように時間がかかるのはどうでしょうか。ここに来られた方、皆さん同じようなことを言われます。あちこちに同じような質問ばかりされ患者さんにかなり負担です。スタッフの歩き方や身だしなみ、対応も好ましくありません。

A

貴重なご意見をありがとうございます。また、長時間お待たせして、申し訳ございません。来院時の問診は、患者さんの症状を確実に把握するとともに、出来るだけ待ち時間を短縮する為に実施しております。診療上、重要な事項につきましては、重複して質問する場合もございますが、何卒、ご理解いただきますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちの患者さんにつきましても、初診の患者さんと同様に受付順となりますので、ご理解いただければと存じます。

スタッフの接遇につきましては、患者さんに不快な印象を与えないように再度指導いたしました。

今後とも、患者さんの目線で接遇が実践できるように教育研修を続けてまいりたいと考えておりますので、職員の対応についてお気づきの点がございましたら、遠慮なくお申し出ください。

## 秋のレシピ

### 《レンコンと牛肉のおかずきんぴら》

- ①れんこんは皮をむき、厚さ3mmの半月切りにする。水に5分ほどさらし、水気を切る。いんげんはヘタを切り、長さ3cmに切る。牛肉は幅3cmに切る。
- ②フライパンにサラダ油小さじ1を中火で熱し牛肉を炒めて、色が変わったら取り出す。フライパンをさっと抜き、サラダ油小さじ2を中火で熱し、れんこん、いんげんを炒める。油が回ったら水1/4カップを加えてふたをし弱火で2分ほど煮る。
- ③Aを加え牛肉を戻し入れて中火にし全体を混ぜながら汁けがなくなるまで炒め煮にする。

#### 【材料(2人分)】

|               |                |
|---------------|----------------|
| れんこん……………180g | 赤唐辛子の小口切り…1/2本 |
| 牛こま切れ肉…80g    | 砂糖・酒……………各大さじ1 |
| さやいんげん…4本     | しょうゆ……………大さじ2  |
|               | サラダ油……………適量    |



一人分:塩分2.7g  
エネルギー:246kcal



# 地域連携室だより

地域連携室(直通)  
TEL 0834-61-3250 / FAX 0834-61-3211

## 【第2回市民公開健康講座】

平成23年9月9日(金)に、当院の循環器内科医長 野瀬善夫医師とACLS、BLSインストラクターの資格を持つ看護師5名が、救命の連鎖の再現劇、人形を使ってのAEDや胸骨マッサージを実際に行いました。24名の参加者から、説明がわかりやすくとても参考になった、とご意見を頂きました。最後に、講演の中で詠まれ、参加者の方が感動された「詩」をご紹介します。

「いのち」

負けられない戦いがある  
胸を押す手にぬくもりを感じる  
いのちだ  
いのちだ  
去らんとする命だ  
押す手に力がある  
息を吹き込めば  
白く白く穏やかな顔だ  
その穏やかさにたじろぎ  
自分の無力が肩に乗った  
それでも諦められない戦いがある



## 【義援金の贈呈】

当院では、東日本大震災発生後に復興支援にと義援金の募金箱を設置いたしました。来院者や職員のご協力、また、5月に開催された看護の日記念行事のバザー売上75,000円を加えた義援金は、総額640,167円になりました。この義援金は、9月27日(火)に日本赤十字社県支部市地区長の木村市長に松谷院長から手渡しました。



## イベントのご案内

### 糖尿病週間の催し 【ブルーサークルイベント】

10月31日(月)から11月6日(日)の期間中は、エントランスホールに、糖尿病フードモデル(朝・昼・夕食)や、薬剤師、看護師、理学療法士、栄養士など、専門分野の糖尿病関連パネルを展示しています。

特に11月6日(日)は、催しを行います。どなたでも気軽に参加してください。

なお、11月14日(月)は、「世界糖尿病デー」に伴い、永源山公園の風車がブルーにライトアップされます。

(ブルーサークルイベント催し物のご案内)

## 糖尿病週間

糖尿病の発症予防をめざして開催される行事です!  
糖尿病が気になる方、関心がある方どうぞお気軽にご参加ください

**11月6日(日) 行事のご案内**

**尿・血液検査**  
10:00~10:45  
参加自由  
検査は糖尿病予防医療科にて実施いたします。

**相談会**  
10:30~11:30  
参加自由  
内科、薬師、看護師、生活指導士専門スタッフが相談に応じます。糖尿病に関するストレスチェック。

**講演会**  
11:30~12:15  
参加自由  
井上 廣 広島県糖尿病センター 副センター長

**糖尿病食の試食会**  
12:20~ 25名様  
1食/100円(当日)  
中食提供、糖尿病食がシニアや高齢者にもおすすめです。  
糖尿病食、糖尿病食に関するお問い合わせは、糖尿病食の試食会まで。

**参加方法**

八丁手に「糖尿病食情報」と書いて、「氏名」「住所」「電話番号」を記入し10月21日(金)までに新南陽市市民病院へ送ってください。  
応募者数は定員までとなります。応募の受付は、定員に達した時点で終了させていただきます。抽選により参加させていただきます。

**展示物** 10月31日(月)~11月6日(日) 糖尿病食情報、糖尿病食モデル(朝・昼・夕食)や、薬剤師、看護師、理学療法士、栄養士など、専門分野の糖尿病関連のパネルを展示します。

**ライトアップ** 11月14日(月)は、「世界糖尿病デー」です。永源山公園の風車がブルーにライトアップされます。

〒746-0017 周南市宮中2-3-15 TEL 0834-61-2500

## お知らせ

近隣の先生方の依頼で「単純CT」「歯科CT」の検査や、メタボリックシンドローム検診を実施しています。  
地域連携室へFAXでお申込み下さい。



# 医事統計

## ◆月別平均在院日数

(単位：日)

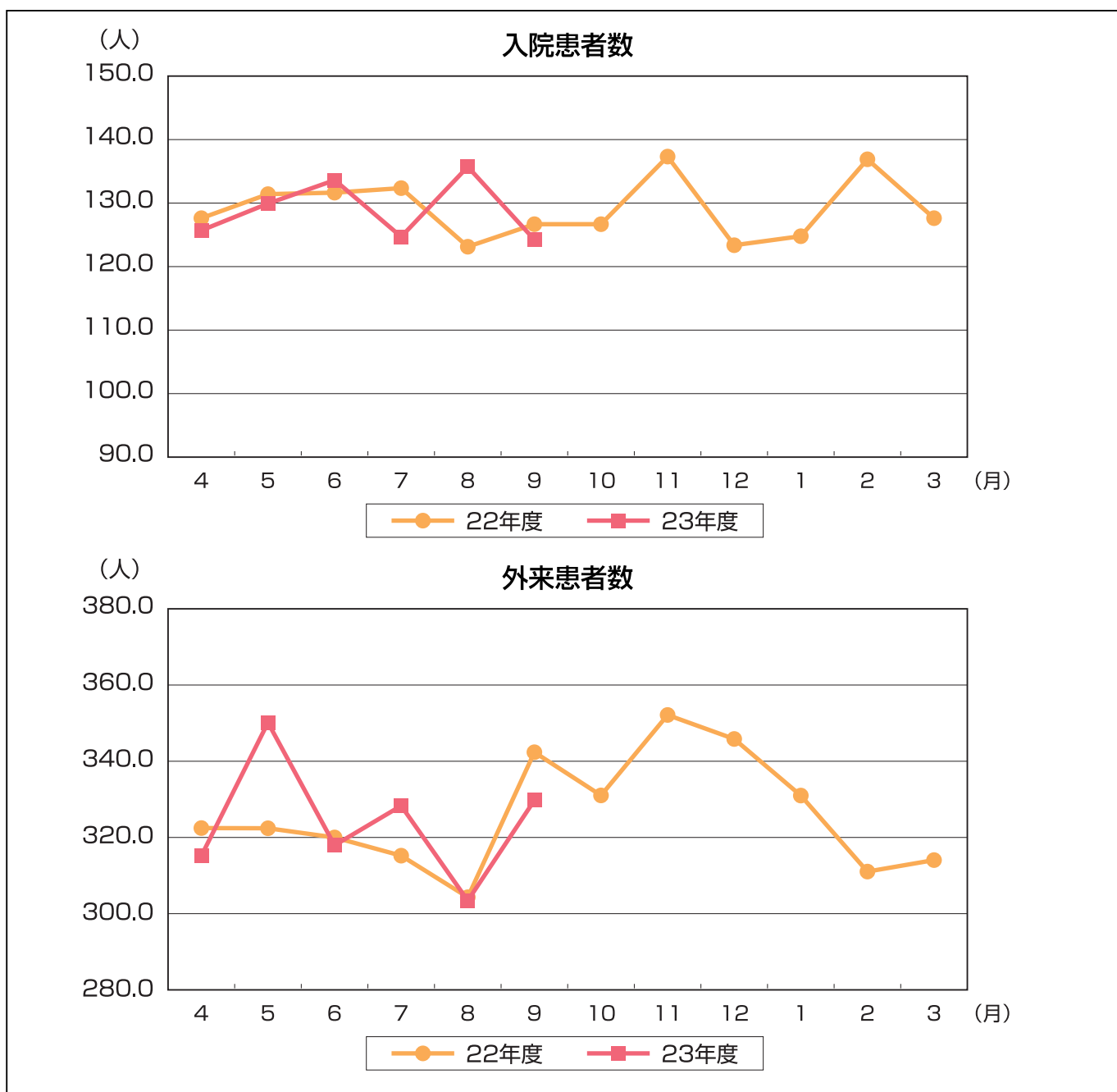
|    | 22年度  | 23年度  | 対前年度  |
|----|-------|-------|-------|
| 4月 | 17.84 | 17.29 | ▲0.55 |
| 5月 | 20.48 | 18.08 | ▲2.40 |
| 6月 | 16.43 | 15.92 | ▲0.51 |
| 7月 | 17.23 | 17.68 | 0.45  |
| 8月 | 16.82 | 16.32 | ▲0.50 |
| 9月 | 17.37 | 16.63 | ▲0.74 |
| 平均 | 17.56 | 16.95 | ▲0.61 |

## ◆月別病床利用率

(単位：%)

|    | 22年度 | 23年度 | 対前年度 |
|----|------|------|------|
| 4月 | 85.2 | 83.8 | ▲1.4 |
| 5月 | 87.4 | 86.5 | ▲0.9 |
| 6月 | 87.6 | 88.8 | 1.2  |
| 7月 | 88.4 | 83.1 | ▲5.3 |
| 8月 | 82.1 | 90.0 | 7.9  |
| 9月 | 84.6 | 82.4 | ▲2.2 |
| 平均 | 86.1 | 85.8 | ▲0.3 |

## ◆平均患者数推移グラフ





## 外来診察一覧表

全科受付 8:30～11:30 診察 9:00～

平成23年10月3日現在

| 科別 |    |     | 月     | 火              | 水     | 木     | 金              |
|----|----|-----|-------|----------------|-------|-------|----------------|
| 内科 | 午前 | 1診  | 松谷 朗  | 中森 芳宜          | 松谷 朗  | 松谷 朗  | 中森 芳宜          |
|    |    | 2診  | 河野 正輝 | 田上 耕蔵          | 河野 正輝 | 赤澤 哲子 | 河野 正輝          |
|    |    | 3診  | 赤澤 哲子 | 桑代 紳哉          | 赤澤 哲子 | 桑代 紳哉 | 桑代 紳哉          |
|    |    | 4診  | 田上 耕蔵 | 野瀬 善夫          | 中森 芳宜 | 野瀬 善夫 | 野瀬 善夫          |
|    | 検査 | 消化器 | 桑代 紳哉 | 赤澤 哲子          | 桑代 紳哉 | 田邊 亮  | 赤澤 哲子          |
|    |    | 循環器 | 野瀬 善夫 | 河野 正輝          |       | 河野 正輝 |                |
|    | 午後 |     |       | 頸動脈・<br>甲状腺工コ一 |       |       | 頸動脈・<br>甲状腺工コ一 |

|      |    |    | 月     | 火     | 水              | 木     | 金     |
|------|----|----|-------|-------|----------------|-------|-------|
| 整形外科 | 午前 | 新患 | 花岡 篤哉 | 木村 光浩 | 木村 光浩<br>黒川 陽子 | 花岡 篤哉 | 黒川 陽子 |
|      |    | 予約 | 小田 裕胤 | 花岡 篤哉 | 小田 裕胤          | 黒川 陽子 | 木村 光浩 |

| 外科 | 午前 | 月     | 火     | 水     | 木     | 金     |
|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
|    |    | 鈴木 道成 | 橋本毅一郎 | 鈴木 道成 | 橋本毅一郎 | 鈴木 道成 |

| 泌尿器科 | 午前 | 月     | 火     | 水     | 木    | 金     |
|------|----|-------|-------|-------|------|-------|
|      |    | 小西 基彦 | 小西 基彦 | 小西 基彦 | (休止) | 小西 基彦 |

| 脳外科 | 午前 | 月     | 火     | 水     | 木     | 金     |
|-----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
|     |    | 藤井 康弘 | 藤井 康弘 | 藤井 康弘 | 藤井 正美 | 藤井 康弘 |

眼科受付 (火・水) 8:30～11:30  
(木) 13:30～15:00  
(月・金) 13:30～16:00

眼科診察 (火・水) 9:00～12:30  
(月・木・金) 14:00～17:15

| 眼科 |    | 月     | 火     | 水     | 木     | 金     |
|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
|    | 午前 | —     | 新川 邦圭 | 櫻田 規全 | —     | —     |
|    | 午後 | 田中 敦子 | —     | —     | 石田 康仁 | 田中 敦子 |

※ の箇所につきましては、平成23年10月3日より変更しています。



お問合せ \_\_\_\_\_  
**周南市立新南陽市民病院**  
 〒746-0017 山口県周南市宮の前2-3-15  
 TEL 0834-61-2500 / FAX 0834-61-2501